

## 第1回講座

---

# 自然の大切さを考える

2017パークレンジャー養成基礎研修

---

2017/4/9

NPO法人日本パークレンジャー協会



# 1. 自然とは?

## 自然 (しぜん / Nature)

- \* 人間を含めてこの世のもの 全部
- \* 人工的でないもの
- \* そのものに本来備わっている性質、天性、本性
- \* 他の力に依存せず自ら生まれて成長・変化・消滅するもの

## 自然 (じねん / 古来からの日本語)

自(おの)ずからの性質に従って 然(しか)るべくあるもの

## 2. 西洋的自然観 vs. 日本的自然観

### ■ 西洋的自然観

- \* 自然は神様が作った / その身代わりが人間
- \* 神様 → 人間 → 自然
- \* 人間が中心で 自然を物と見る・自然は克服すべきもの・資源

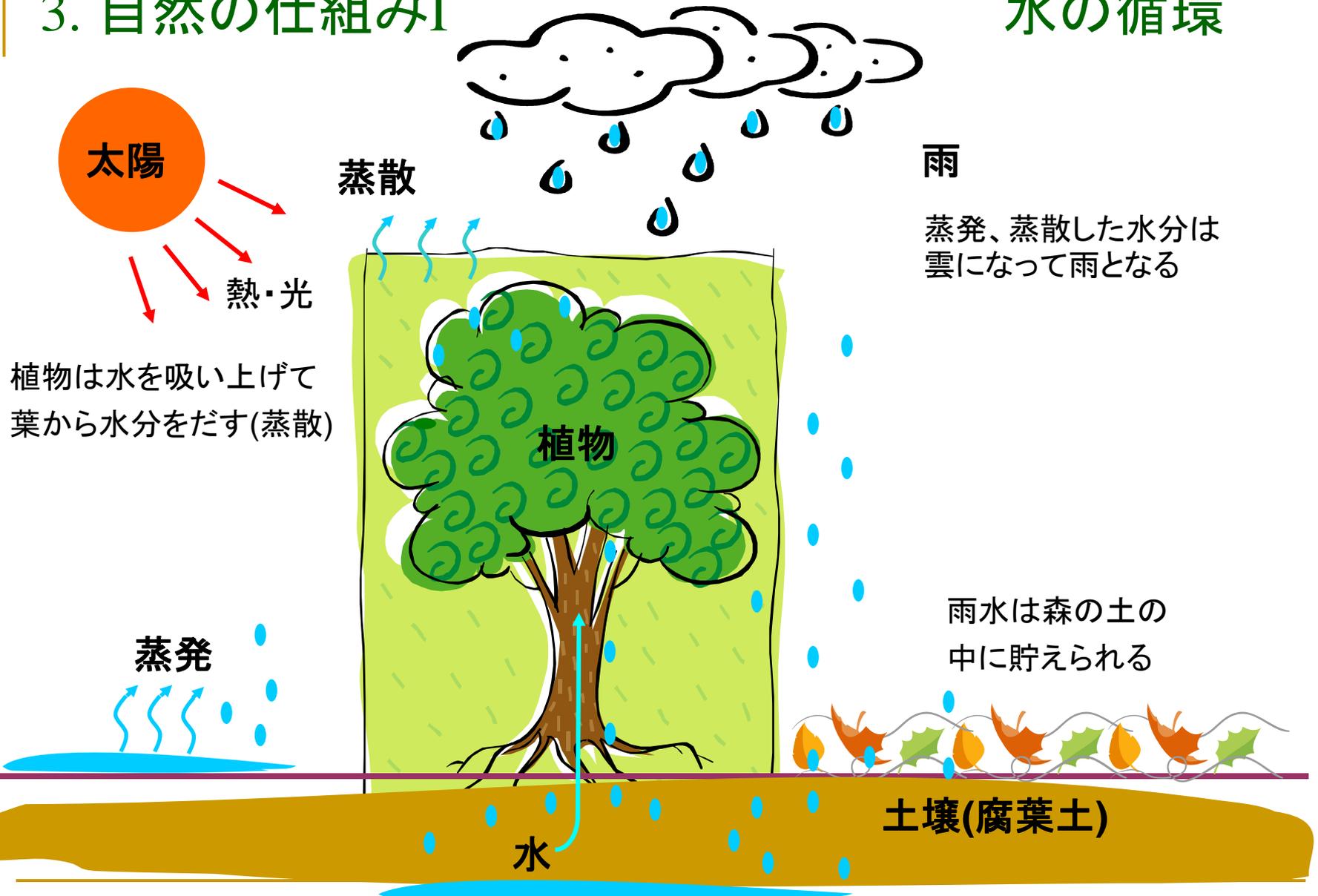
### ■ 日本的自然観

- \* 自然の力に畏怖や尊敬を感じる  
自然災害/自然の恵み/ 不可思議/生命力 → 自然の中に神様
- \* 人と自然はつながって生きている  
自然の中に生命のつながりを感じる / ご先祖様 → 共生・感謝
- \* 人と自然の一体観 (人も自然の一部)  
自然を物と見ない / 「あるがまま」 → 自然「じねん」

自然を物として見る vs 自然をあるがままに見る

### 3. 自然の仕組みI

### 水の循環



植物は水を吸い上げて  
葉から水分をだす(蒸散)

雨

蒸発、蒸散した水分は  
雲になって雨となる

雨水は森の土の  
中に貯えられる

土壌(腐葉土)

水

水は地上と空を循環している

# 4. 自然の仕組みII 生きもののつながり

太陽

植物の光合成  
水+CO<sub>2</sub> → 糖+O<sub>2</sub>



ケムシ



野鳥



小動物



大きな獣

落葉・フン



キノコ



腐葉土

微生物(分解)

水 養分

ミミズ

動物(消費)



猛禽

みんな死ぬと土にもどる

生きものはつながって生きている

## 5.-1 自然の大切さ (物として)

- 人(生きもの)は自然と言う仕組みの中で生きている
  - 自然はさまざまな生き物のつながりで成り立っている (食物連鎖)
  - 水、空気、衣・食・住 (基本は植物から) 燃料、医薬、産業資源...
- 人は自然を観察して色々なものを作りだした
  - 「科学・技術・文学・音楽・絵・・・」
- 生命誕生の歴史 : 「生命の起源 → 地球 → 宇宙」
  - 私たちはどこから来たのか? ルーツ(生命の誕生)は共通の祖先

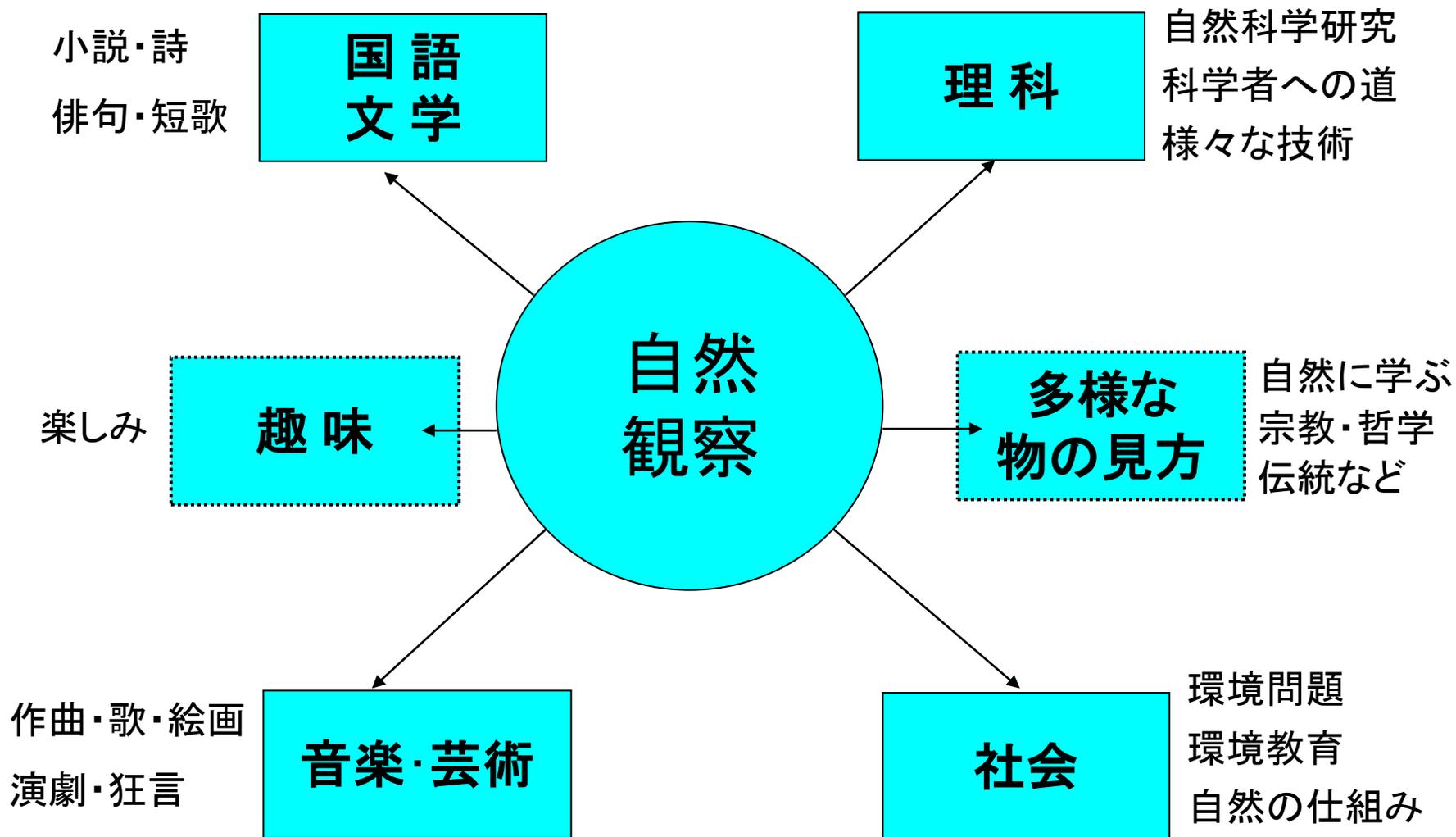
人は自然とともに生きている

## 5.-2 自然の大切さ (形のないもの)

- **自然へ畏れ・尊敬** → **自然の中に神様**
  - 自然の恵み・災害、不可思議、生命力
- **自然に生かされている、命のつながり、ご先祖様** → **自然に感謝**
- **自然から様々な文化 宗教、哲学、芸術・芸能...** → **多様な物の見方**
- **自然(森)は人に心の癒しを与える** → **人は森の生き物**
  - 人は自然と触れ合うことで健康を保つ (不足すると自然欠乏症候群)
- **自然 (森や里山)が人と人をつなぐ** → **人と自然がつながり人と人がつながる**
  - 結・マタギ、伝統・祭り、故郷
- **日本的自然観**
  - 人と自然の一体観: 自然を物として考えない → **自然「じねん」あるがまま**

自然を物としてだけではなく「心」で見る

## 6. 自然を見ることから生まれたもの



人は自然からあらゆることを学んできた

# 7. 私たちの祖先

JT 生命誌絵巻より

現代の色々な生きもの



地球上の全ての生きもののルーツは38億年前の共通の祖先

## 8. 私にとっての自然の大切さ

### ● 自然が教えてくれた

- \* 虫取・魚釣り・木登り...自然の遊びは冒険心や恐怖心を教えてくれた
- \* 自然観察は自然の不思議や面白さを教えてくれる → 楽しみ
- \* 生きもののつながりや生命の大切さを教えてくれる → 感謝
- \* 自然への関わりが自分の生き方を示してくれる → ボランティア/生き甲斐

### ● 自然は人と人を結びつける

- \* 自然の活動を通して人のつながりが生まれる  
子どもたち、参加者、活動の仲間 (ボランティア)……

### ● 自然は田舎を思い出させる

- \* 家族、友だち、春の野・夏休み・遊び、秋の実り、祭り、冬の寒さ

今の自分は自然とのかかわり無しには考えられない

## 10. 自然の大切さを伝える

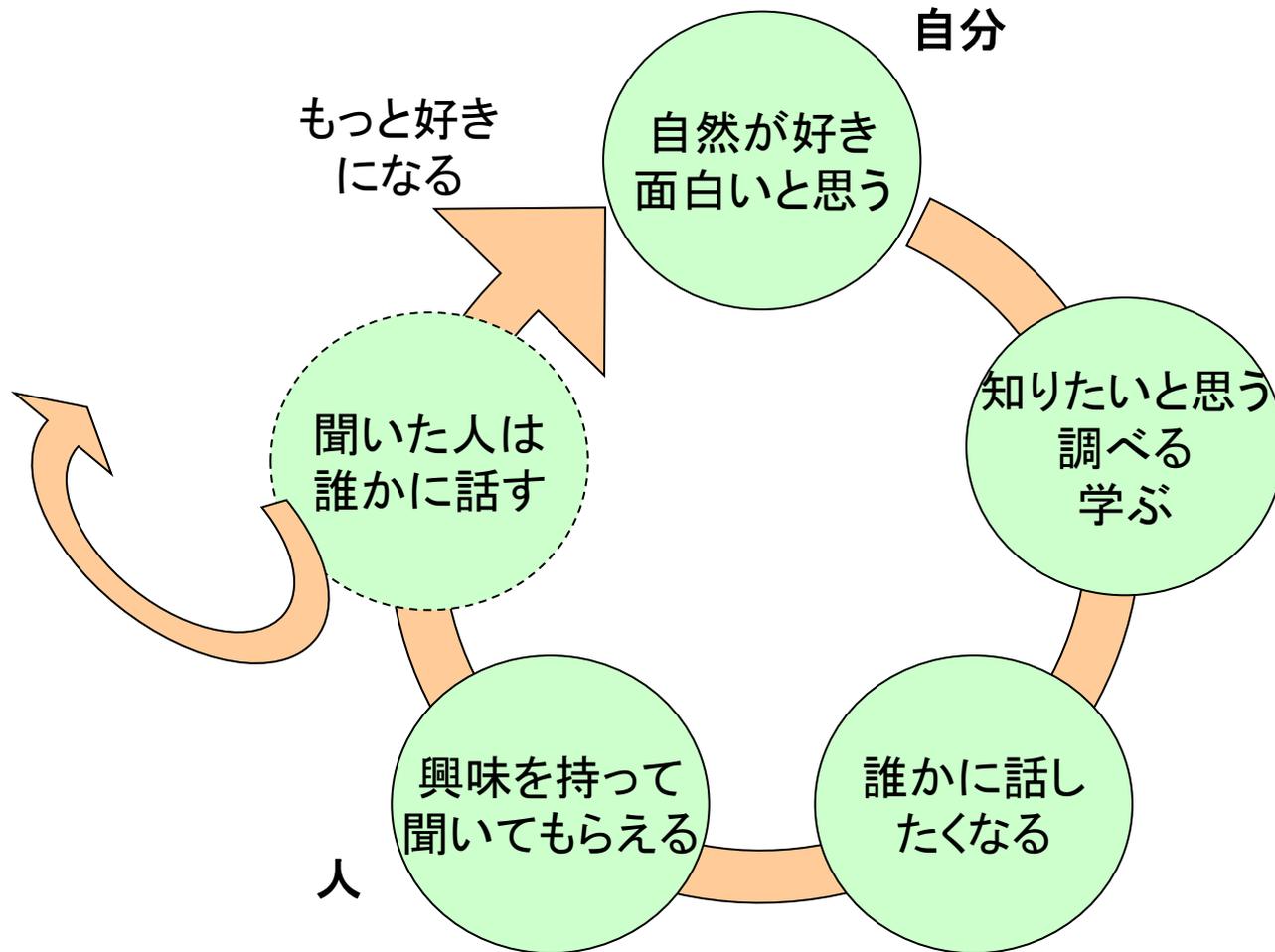
体験する → 自然を知る → 自然を大切にする  
(楽しむ) (理解する) (行動する)

人は自然の美しさや不思議さ、面白さの発見などの楽しい経験をすることをくり返して自然のことを知る

そして自然が身の回りであることを実感できるようになって始めてその大切さに気づき守ろうと言う気になる

身体で覚えたことは記憶に残る → 理解 → 判断・行動

## 11. どのように自然のことを伝えるか？



「自然に興味を持つ → 学ぶ → 話す → 更に学ぶ」 サイクル